

横浜学

開港場に展開した社会と文化

講座内容

開港場横浜、その開港場が関門の内に。つまりは関内。その開国日本の海外貿易のフロントで展開した強かな外国人商人による商館貿易。そうした状況の中での横浜商人の商人魂と自治組織の確立を求めたステージにみる社会と文化について考える。

期 間	10月8日～12月3日	受講料	10,000円
曜 日	火曜日	定 員	40名
時 間	13:30～15:30	会 場	横浜・関内キャンパス
回 数	全8回	持ち物	筆記用具
教 材	講師が毎回レジュメやプリントを用意します。		

講座スケジュール

回数	日 程	内 容	担当講師
1	10月 8日 (火)	開港場開設当初の神奈川宿 —設置された領事館と宣教師へボンを中心に—	権田 益美 小林 照夫
2	10月15日 (火)	外国人の居住と港崎遊郭 —開港場横浜の現実—	小林 照夫
3	10月22日 (火)	横浜開港場の商業活動 —貫弁が介在した商館貿易下での横浜商人と彼らのビジネス—	小林 照夫
4	10月29日 (火)	中居屋重兵衛や甲州屋忠右衛門が「冒険的商人」と言われた所以 —彼らの売込商品生糸の仕入れと販売—	小林 照夫
5	11月12日 (火)	横浜商人の誕生 —近代的経営を模索した原善三郎や茂木惣兵衛のビジネス—	小林 照夫
6	11月19日 (火)	横浜商人の「聯合生糸荷預所」の開設に向けての運動 —彼らの商権回復へのチャレンジ—	小林 照夫
7	11月26日 (火)	横浜商人の自治組織 —横浜商法会議所設立に向けての彼らの働きかけ—	小林 照夫
8	12月 3日 (火)	横浜商人がビジネスに活用した「よこはま言葉」 —言葉の中には外国語が転訛したもの—	小林 照夫

講師紹介



小林 照夫(こばやし てるお)

本学名誉教授

博士(社会学)。本講座に関連した著書としては、『巨大都市と漁業集落—横浜のウオータフロント』(成山堂書店)、『港都横浜の文化論』(関東学院大学出版会)等。その他の小林の著作については、ウィキペディア小林照夫の項を参照ください。



権田 益美(ごんだ ますみ)

本学国際文化学部非常勤講師

博士(文学)。「港都横浜の文化論」(関東学院大学出版会)分担執筆、「港湾経済研究：人物編」(日本港湾経済学会)分担執筆他大学紀要掲載論文等。